

平成26年度 第2回 燕・弥彦地域公共交通会議 会議録（概要版）

日時：平成26年10月6日（月）午前10時30分～11時30分

場所：燕市吉田産業会館 1階 第1会議室

出席者（敬称略）

委員 会長 燕市長 鈴木 力
副会長 弥彦村副村長 本田 啓三（代理）
国土交通省 新潟運輸支局 主席運輸企画専門官 白砂 千佳（代理）
新潟県 燕警察署 署長 石口 英治
新潟県 西蒲警察署 交通課長 今川 佳彦（代理）
新潟県 三条地域振興局 企画振興部長 杉山 興
東日本旅客鉄道株式会社 燕三条駅 駅長 時田 康弘
新潟県立吉田病院 事務長 藤田 桂輔
住民代表 （分水地区）若林 與一
（燕地区） 竹井 満喜子
（吉田地区）中村 カオル
（弥彦村） 坂井 洋一郎
新潟交通観光バス株式会社 常務取締役 田巻 耕介
公益社団法人新潟県バス協会 専務理事 高橋 清吉
連合県央地域協議会 事務局長 佐藤 春男
越後交通株式会社 三条営業所 所長 古川原 勇
越佐観光バス株式会社 専務取締役 佐藤 洋彰（代理）
燕市企画財政部長 五十嵐 嘉一、燕市商工観光部長 赤坂 一夫
燕市都市整備部長 五十嵐 一夫、燕市健康福祉部長 小林 恵美子
燕市教育委員会教育次長 金子 彰夫、弥彦村総務課長 福田 正智
弥彦村建設企業課長 小林 芳春、弥彦村住民福祉課長 樋浦 久夫
弥彦村教育委員会課長補佐 三富 浩子
（計26名）

欠席： 独立行政法人労働者健康福祉機構 燕労災病院 事務局長 高江 裕洋
住民代表（弥彦村） 阿部 徳子
株式会社燕タクシー 代表取締役 竹内 邦彦
弥彦村産業振興課長 小林 栄一
（計4名）

事務局：（燕市）

市民生活部長 田野 正法、生活環境課長 保倉 茂

生活環境課長補佐 宇佐美 文浩、交通政策係主事 菊地 貴之

（弥彦村）

総務課 企画調整係長 坂爪 明博

（KCS）

社会政策グループ上級技師 永野 裕一、副主任技師 福井 裕明

報道機関：三條新聞

次第：

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 報 告

○弥彦村地域公共交通調査事業、アンケート結果より

(1) 弥彦村の現状と課題について〔資料1〕

(2) 燕市・弥彦村のネットワークの強化について〔資料2〕

4. 議 事

(1) 弥彦・燕広域循環バスの名称（案）について〔資料3〕

(2) その他

5. 閉 会

《会議資料》

資料1 弥彦村の現状と課題について

資料2 燕市・弥彦村のネットワークの強化について～広域循環バスの運行の検討～

資料3 弥彦・燕広域循環バスの名称（案）について

1. 開会

【事務局】

皆様、本日はお忙しいところご出席を賜りましてありがとうございます。定刻になりましたので、これより平成26年度第2回燕・弥彦地域公共交通会議を開催させていただきます。

私は事務局を務めます燕市生活環境課の保倉でございます。よろしくお願い申し上げます。

2. 会長あいさつ

【事務局】

開会に当たりまして、この会議の会長であります、燕市長がごあいさつを申し上げます。

【会長】

皆様、おはようございます。本日はお足元の悪い中、第2回目の地域公共交通会議にご出席くださりまして深く感謝申し上げます。

燕市と弥彦村が定住自立圏の形成に取り組むという中で、この地域公共交通会議も弥彦村に新たに加わっていただき、事業規模を拡大していく中で再スタートしました。おかげさまで、9月30日に燕・弥彦が定住自立圏の形成に向けての調印を行ったところでございます。現在、年度末に向けて事業のビジョン作り、そして4月以降の本格的な運用に向けて順調に進んでいるところであります。この燕・弥彦定住自立圏という大きなテーマの1つに地域公共交通のあり方というものがあり、とりわけ弥彦村のバス等の公共交通の新たなネットワーク作りが必要になっています。本日はその案件につきまして、先日弥彦村で行われたアンケートの結果がまとまりましたので、状況を報告させていただきまして、今後の方向性について議論いただければと思います。限られた時間ではありますが、忌憚ないご意見を頂けますようよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございます。続きまして、配布資料の確認をお願いいたします。

本日の「次第」「委員名簿」「配席図」、それから資料1から資料3までを用意させていただきました。不足している資料はございませんでしょうか。

なお、本来であれば、事前に資料を配付するべきところではありますが、都合により当日配付となりましたことをお詫び申し上げます。

次に、8月1日付の人事異動による委員の変更があります。ご紹介させていただきますので、大変恐縮でございますが自席にてご起立をお願いします。委員名簿18番の越後交通(株)三条営業所長の古川原 勇様です。よろしくお願いいたします。

次に本日の出欠状況についてご報告申し上げます。委員名簿の方をご覧ください。

本日は8番の燕労災病院事務局長高江 裕洋様、14番の弥彦村住民代表阿部 徳子様、20番の(株)燕タクシー代表取締役竹内 邦彦様、27番の弥彦村産業振興課長小林 栄一様が欠席となっております。

このほか、2番の弥彦村長大谷 良孝様に代わりまして、弥彦村副村長の本多 啓三様、3番の国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局主席運輸企画専門官の高橋 良孝様に代わりまして、国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局主席運輸企画専門官、企画調整担当の白砂 千佳様、5番の西蒲警察署長の伊嶋 正様に代わり、西蒲警察署交通課長の今川 佳彦様、そして19番の越佐観光バス(株)代表取締役の佐藤 洋一様に代わり、専務取締役の佐藤 洋彰様からご出席をいただいております。

これにより、委員30名のうち代理出席を含め過半数の26名の委員からご出席いただいておりますので、「燕・弥彦地域公共交通会議設置要綱」第10条第2項の規定に基づき、本日の会議が成立していることをご報告申し上げます。

3. 報 告 ～弥彦村地域公共交通調査事業、アンケート結果より～

【事務局】

では、これより会議に入りますが、本日の終了時間は、午前11時30頃を予定しております。スムーズな進行にご協力をよろしくお願い申し上げます。

それでは、議事進行につきましては、設置要綱に基づき会長からお願いいたします。

(1) 弥彦村の現状と課題について

【会長】

それでは、私の方で会議を進行いたします。最初に報告事項から始めます。地域公共交通調査事業につきまして、「弥彦村の現状と課題について」事務局説明を願います。

【事務局・KCS】

《資料1に基づき説明》

【会長】

事務局の説明が終わりました。ただ今の報告についてご意見、質疑等ありましたら挙手にて発言願います。今回の内容は、弥彦村のことですので、弥彦村よりお越しの方々、アンケートの結果をご覧になっていただいていたideいかでしょうか。

【弥彦村住民代表 坂井委員】

私の家庭では夫婦どちらも免許を持っており、普段の外出には自家用車を使用します。そのため、今回のアンケートでは、公共交通を使うという発想がなかなかできず答えるのに非常に苦労しました。改めて、自分たちの生活には自家用車が必要であると考えさせら

れました。また、1週間の間に何回くらい買物や病院、または遊びに行くかということについてもなかなか答えられませんでした。その理由としては、自家用車でいつでも思い立った時に外出することができるためであると思います。東京にいる自家用車を持たない友人たちの話を聞いたことがあったのですが、その友人たちは始めに目的地を明確に選択し、そこへ行くために電車、バス、地下鉄等、どの公共交通を使用するかを決めてから外出するとのことでした。私たちのように弥彦村に住んでいると、東京のように公共交通があまりないので、移動手段を考えるとすぐ自家用車のことが頭に浮かんでしまいます。もし自家用車が使えない状態で、今ご説明を頂いたような形のアンケートをとってもらおうと、おそらくさらに違う結果が出たのではないかとも思いました。

【会長】

今の発言につきまして、事務局いかがでしょうか。

【事務局・KCS】

ご回答して頂くのにご苦勞をおかけしてしまい申し訳ありませんでした。坂井さんがおっしゃったとおり、自家用車が使用できるという前提でアンケートに回答していただくと、先ほどの課題3（資料1 12ページ参照）に「一般的に、便利な自家用車からバスや鉄道への転換は容易ではない」とありますが、全国どのような場所でも自家用車を使用する以外の選択肢は考えにくいようです。そのため自家用車がなく、他に代替できるものがない中で、いきなりこんなバスはどうでしょうかと提案してもアンケートに答えるのは難しかったのではと思います。これから運行の計画を立てていきますが、大切なのは実際に運行する際に、どうやって最初の一回目を使ってもらおうかが勝負だと思っています。

【会長】

他に何かございますか。

【燕市住民代表 竹井委員】

利用者の立場で考えると、便利な自家用車からバスへ移動手段を転換させるには自家用車の便利さがあるような公共交通のシステムを考えればいいのではないかと思います。きららん号は、今日のように時間に余裕のない時は確かに使用するのが難しいですが、時間に余裕のある時はお家の前まで迎えに来てくれるので本当に便利だと思います。バスの場合だと、停留所に行かなければならない、目的地に直行するとは限らない、あるいは場合によっては電車など他の公共交通機関との接続を考える必要があるというようにきららん号のような便利さはありません。また、きららん号も時間に余裕のある人には本当に便利であると思いますが、高齢者の方が病院に行く際に利用するケースが多いため、利用者の年齢がかなり限られてきます。もっと広く一般の人たちにも利用してもらうためには、自

家用車のように使えるシステムを構築することが究極の目標ではないかと思えます。自分たちにとって都合のいいことばかりの意見で申し訳ないのですが、お考えいただければと思います。

【会長】

お気持ちはよくわかります。しかし、公共交通はどこか一定の枠の中で動かさないとできないため、自家用車とまったく同じようなシステムのものは難しいと思えます。ただ、現在弥彦村には村内を走るバスが一つしかないため、移動の手段が選べません。この会議では、利用者の状況、あるいはその時の状況に合わせて、様々な選択肢から選ぶことができるというように、公共交通のネットワークを広げることが前提を考えて頂ければと思います。自家用車とまったく同じものが欲しいと考えられてもそれは自家用車以外にはないのではないかと思いますし、もしかするとタクシーが唯一代わるべきものかも知れませんが、そうすると、タクシーも一つの公共交通の選択肢と考慮してもらわないといけないため、そのような前提で議論してもらわないとなかなか收拾がつかなくなると思えます。この会議では、今よりも移動するための選択肢を増やすこと、また現在自家用車に乗ってない人、今後自家用車に乗れなくなった人たちが次の選択肢としてどのようなものが選べるかというのを議論していただければと思います。

1 つ目の議題は以上でよろしいでしょうか。それでは、「弥彦村の現状と課題について」については以上で終了します。

(2) 燕市・弥彦村のネットワークの強化について

【会長】

では次に、1 つ目の報告を踏まえて、「燕市・弥彦村のネットワークの強化について」事務局説明願います。

【事務局・KCS】

《資料 2 に基づき説明》

【会長】

事務局の説明が終わりました。今の意見に関しまして、ご意見、ご質問等ございませんか。ないようですが、今後の細かい検討に期待ということでよろしいでしょうか。

【燕三条駅長 時田委員、弥彦村住民代表 坂井委員、燕市住民代表 中村委員、竹井委員】
《※ J R 弥彦線、電車の運行方式等に関する質疑応答》

【会長】

他に何かございませんか。

【燕市商工観光部長 赤坂委員】

公共交通なので、観光という面から議論していいかわからないのですが、せっかく燕三条駅から弥彦村に行くという路線をつくるのであれば、お客さんを呼び込むという要素も考えてもらえればと思います。なお、長岡市寺泊には観光客が多くいらしていますが、その要因の一つとしてとして、燕三条駅から直行便があり、アクセスがいいということが考えられます。

【会長】

今、観光についての話がありましたが、先ほどの検討の例というのは、病院での滞留時間や、買物に掛かる時間を前提にダイヤを組めるかシミュレーションしています。今後、例えば東京から新幹線で燕三条に来た人が半日くらい燕市に滞在できて、弥彦村に行くというようなダイヤをうまく組めるのか、あるいはどうやったらうまく組めるのかといったシミュレーションもお願いします。

他に何かございませんか。なければ、今日は課題の整理や方向性の整理ですので、次回、具体的な案を出していただくということで、この議題は以上で終了します。

4. 議 事

(1) 弥彦・燕広域循環バスの名称（案）について

【会長】

それでは、議事に入ります。「弥彦・燕広域循環バスの名称（案）」について、事務局説明をお願いします。

【事務局】

《資料3に基づき説明》

【会長】

今の案について何かご意見はありませんか。この他に、いい案をお持ちの方がいればよろしくお願ひいたします。ところで、名称はいつまでに決定しなければならないのでしょうか。

【事務局】

次回の交通会議より仮称「やひこ号」ではなく、新しい名称を使えればと思っておりましたが、今日すぐに決定しなくても大丈夫です。

【会長】

それでは、名称については燕市の方々を交えて決めるよりも、弥彦村の委員の方々に持ち帰ってもらい、話し合ってもらいましょう。

(2) その他

【会長】

最後に、議題「その他」であります。事務局で用意している案件はありますか。

【事務局】

それでは次回の開催についてお知らせします。次回は11月頃開催の予定です。都合により、具体的な日程はまだ決めておらず恐縮ですが、後日委員の皆様に変更で連絡差し上げたいと思います。また、それまでに弥彦・燕広域循環バスの新路線を検討し、案をお示ししたいと考えております。委員の皆様方から事前にご確認いただき、会議でご審議いただきたいと考えております。ご出席のほどよろしく願いいたします。

【会長】

他に何かございませんか。それでは、予定の時間を少し越してしまいましたが、これを持ちまして、本日の会議を閉会させていただきます。本日は大変お疲れさまでした。

以上